

令和3年度 栃木市教育研究所 研究所員研修会 研究記録カード

1 部会名	授業づくり		部 会
2 研究員	小学校 3名	中学校 2名	事務所員 2名



3 研究テーマ

すべての子どもが「できた!」「わかった!」を実感できる  
授業づくりのための「振り返り」の工夫

4 研究の取組

(1) 研究内容

これまでの研究実践をもとに「振り返り」の目的を明確に設定し、効果的な「振り返り」の方法について考察し、授業実践する。

- ①児童生徒の学習改善や教師の授業改善につながる「振り返り」の考察・実践
- ②「振り返り」の質を高めていくための考察・実践
- ③「振り返り」に焦点を当てた授業づくり・実践

(2) 研究のあゆみ

月 日	実践内容	月 日	実践内容
5月10日	研究テーマ・内容の協議、計画作成		
6月21日	研究テーマ・内容の協議、計画作成		
9月前半	中学校の授業計画		
9月後半	授業研究（中学校での実践）		
10月 1日	小学校の授業計画		
11月	授業研究（小学校での実践）		
11月22日	研究授業のまとめ・発表計画	2月10日	3年次報告提出

5 研究の成果と課題

【成果】

- ・「振り返り」の視点を示すことで、児童生徒がどのような内容を書けばよいかわかり、書きやすくなるとともに、内容の充実が見られた。
- ・書くことが苦手な児童生徒が一定数いる中で、ICTを活用したり、「振り返り」を共有したりすることで、児童生徒の書く「振り返り」の質が向上した。

【課題】

- ・発達段階に応じて、どのような視点を与えていくとよいかをより具体的に考えていく。
- ・児童生徒の書く力やタイピング能力に差があっても対応できる、誰でも取り組める「振り返り」の仕方を考えていく。

6 さらに研究していきたいこと・次年度の構想

- ・小中学校9年間を通して、どのように「振り返り」をさせていくか。
- ・発達段階に合わせた「振り返り」の視点の内容、与え方。
- ・「振り返り」を共有した後に、さらに考えを深めていくためにはどうしたらよいか。
- ・「対話」の中で、友人と自分の意見を比較し、さらに自分の意見を練り上げるにはどうしたらよいか。